放置された里山を整備し登山道の機能を取り戻した事例 事業名 里山林整備事業(環境改善型) 市町名 江田島市

取組のきっかけ・経緯

・かつては野登呂山から三高山にかけて遊歩道があったが、長年に渡って山の手入れがなされておらず、登山道としての機能が損なわれて、市民から「放置された里山林の整備をしてほしい」との要望が出されていた。

今後の展開

・広報誌などを活用し、新たな観光スポットとして広く周知していきたい。

取組の内容

•事業主体: 江田島市

• 実施場所: 江田島市沖美町

•業務委託先: 広島県森林組合連合会

•業務(実施)量:0.24ha

業務金額(事業費総額):3,588,200円業務(実施)期間:令和5年12月23日

~令和6年3月29日

取組後の感想

【良かった点】

・元々は斜面であったため歩きにくかったが、整備の際に切土や盛土を行い、必要な部分には階段を取り付けることで、歩行がし易くなった。

【悪かった点】

・階段工に使用する木材の原価高騰により、想 定よりも階段の段数が少なくなった。

【整備前】



【整備後】



海自幹部候補生学校との交流事業で植樹をした事例 事業名 里山保全活用支援事業 市町名 江田島市

取組のきっかけ・経緯

・地元から海上自衛隊幹部候補生学校との交流事業として提案があり、実施することとなった。

今後の展開

引き続き実施したいとの要望がある。

取組の内容

事業主体: 古鷹フレント、シップクラフ、

・実施場所: 尾鷹の広場

- 業務量: ソメイヨシノ苗植樹(20本)

業務金額: 328,585円業務期間: 令和5年11月

取組後の感想

【良かった点】

・幹部候補生学校の学生に参加してもらい、活動 を通して江田島市に貢献してもらえることができ た。

【悪かった点】

・今後の維持管理方法等が未定である。

【活動の様子】



【植樹後の様子】

